被災72年　2026年3・1ビキニデー集会

戦争も核兵器もない世界へ 行動を今こそ

イラン攻撃に抗議

3・1ビキニデー集会が、2月27日～3月1日に静岡市、焼津市で開かれ、3日間の全国集会にオンラインとあわせ、のべ2700人が参加。戦争も核兵器もない世界へ今こそ行動をと、決意し合う場となりました。

合唱や朗読でビキニ事件を語りつぐ高校生たち（3・1ビキニデー集会で）

力の支配 許さない

集会2日目の2月28日、アメリカとイスラエルがイランを攻撃したとのニュースが飛び込み、会場は怒りに包まれました。

原水爆禁止世界大会実行委員会運営委員会共同代表の高草木博さんは主催者報告で、「アメリカ、イスラエル両国に対し、ただちにイランに対する一切の武力行撃をやめるよう要求する」ときっぱり。

来賓の日本原水爆被害者団体協議会事務局長の濱住治郎さんは被団協、原水協、原水禁で出した共同アピールを力に、昨年11月、核兵器禁止条約批准署名344万人を提出したと報告。

「今年は日本国憲法公布80年。核戦争を体験した被爆者は、9条に込められた思いを一番近くで感じることができる。憲法9条は、核時代の今こそ必要な条項」と力を込めました。

軍事強化に抗して

軍事強化に反対する行動が、国内外から報告されました。

アメリカのジョセフ・ガーソンさん（平和・軍縮・共通安全保障キャンペーン議長）は、トランプ大統領が〝力の支配〟で民主主義と人権をこわし、国防予算を増額する中、何百万人もが「ノー・キングズ（王はいらない）」行動に参加していると発言。

ピエール・ヴィラールさん（フランス平和運動元全国委員長）はフランスが軍事予算を増額し、志願制の兵役制度を復活、軍事・メディア・産業界の複合体による「人々の意識を軍事化する大規模キャンペーンに直面している」と。そうした中でも、被爆者の証言を聞く企画にとりくみ、約7000人の市民が参加したことを報告。

「核保有国での平和活動は困難だからこそ、証言は非常に重要」と述べました。

韓国のイ・テファンさん（民主労総第一副委員長）は、「日本の大軍拡は脅威。今、かつてなく東アジアと世界で反戦平和運動が切実に求められている。ともにたたかう」と述べました。

新婦人沖縄県本部事務局長の里道昭美さんは、本土復帰前の60年代、「東アジア最大の核拠点だった」と、沖縄と核の歴史を振り返りました。1972年、「核抜き本土並み」の平和な復帰を願った沖縄の民意は「有事の際の核持ち込み」を容認する「佐藤・ニクソン密約」によって葬られ、「沖縄はいまも核戦争の最前線に立たされている。戦争反対、暮らしを守れ、核使用許さない、憲法を守れ、とこれまで以上に声を上げていこう」と訴えました。

岡山の新婦人は、「自衛隊三軒屋駐屯地に新たな弾薬庫整備が浮上し、事故が起きたら…と怖い。駐屯地近くの駅前でアンケートにとりくみ、3月に予定している新婦人中国5県の政府交渉で防衛省と交渉する」と発言しました。

福島原発事故から15年、元日本共産党浪江町議会議員の馬場績（いさお）さんは、今も、復興拠点の放射線量が驚くほど高く、避難生活を余儀なくされていることを報告し、「私は叫びたい。故郷を返せ！原発推進は破滅の道。戦争も核兵器も原発もいらない」と訴えました。

憲法と核兵器を一体に

集会では、高知県の被災船員と遺族の裁判を支援するとともに、あらためてビキニ被災の全容解明および被害の救済・補償を求めました。

核兵器禁止条約の批准・署名は93カ国に達し、平和を求める世界の流れとなっています。4月のNPT再検討会議・ニューヨーク行動に95人の代表団を送り、核保有国に廃絶を迫ります。

「非核日本キャンペーンII」にとりくみ、非核平和の日本の実現、非核三原則を守ろう」との呼びかけに、会場は大きな拍手で応えました。日本原水協の行動提起を受け、以下のとりくみを強めます。

◇

○被爆者とともに「平和と被ばく体験を語る集い」を無数に開催。憲法を守る運動との共同を

○「日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名」、自治体の意見書決議をさらに。（第一次署名共同提出は6月19日予定）

○2026年国民平和大行進の成功を

○原水爆禁止2026年世界大会成功へ、代表派遣のとりくみを、若い世代を大会に

多くの女性たちとつながり行動する決意を述べました。

「核兵器や大軍拡のことを知らない人との対話は、どうしたら」という問いかけに、京都の新婦人が、「大事なのはヒヤリング（聞くこと）と発言し会場一同、「なるほど！」と。〝高市ブルー〟になっていたが、明るく行動している話に元気をもらった」「参考になった。私も踏み出したい」という感想が多く寄せられました。

「草の根」と「対話」こそ

3日間にわたり、草の根の運動交流が活発におこなわれました。

新婦人の米山淳子会長は主催者あいさつで、選挙後すぐに女性たちの行動が始まり、「何かしたい」と行動する場を求めて街頭や国会前に女性たちが集まってきている、その息吹を伝えました。

新婦人中央常任委員の大平由美子さんは、全国で班会や小組サークル、憲法カフェ、街頭でのシール投票や署名活動、地域の原爆展で対話を広げていることを紹介。戦争への道に危機感を感じている

新婦人の発言に、全国から参加した会員たちもタペストリーを持って登壇（2月28日　日本原水協全国集会）

久保山愛吉さんのお墓がある弘徳院まで墓参行進し、由比ヶ浜直子事務局長が墓前祭で誓いの言葉を述べた（3月1日）

ビキニデーとは

1954年3月1日、アメリカが太平洋ビキニ環礁でおこなった水爆実験により、マーシャル諸島の人々や静岡・焼津のマグロ漁船「第五福竜丸」をはじめ、1000隻以上の漁船が被災した。この事件に由来し、第五福竜丸の母港の焼津などで、毎年集会や行進を開催。今に続く核兵器廃絶のたたかいの源流になっている。

被災72年3・1ビキニデー おもな日程

2月27日　日本原水協全国集会
　28日　国際交流会議
3月1日　全体集会・分科会
　　久保山愛吉墓参行進
　　・墓前祭
　　3・1ビキニデー集会

ジェンダーリレー講座〈146〉

これからの家事労働②

元千葉大学教授　久保桂子

なぜ「家事は女」の変更が必要か

なぜ国際的なレベルで、「家事は女」の変更が求められたのでしょう？　この点、アメリカの社会史研究者コーワン（※）は鋭い指摘をしています。――工業化以前の社会では家の中で男性の手仕事があった、その男性の仕事は工業化の中で軽減された一方、伝統的に女性に割り当てられてきた料理、洗濯、育児の多くが家庭に残された、その結果、工業化は女性を家事労働から解放しなかった、というのです。男性の仕事が軽減された例として、彼女は、薪割りは石炭の普及で不要になり、粉ひきは市販の小麦粉の利用で行われなくなり、また、男女両方の仕事であった水くみは不要になったと。

日本においても1918年の農家の労働時間調査（表）によれば、男性が担当した家事がありました。しかし、多くは工業化の中で不要になっています。女性の担当していた風呂たき、機織りなどの家事は不要になりましたが、炊事、洗濯、掃除、育児は残されました。

工業化が進行し、男性に続いて女性も雇用労働に従事するようになりましたが、女性に割り当てられていた家事は、そのまま女性の仕事として世帯内に残されました。そこで、国際婦人年の宣言では、女性が仕事と家事を両立できるように男性に家庭生活への積極的な参加を求めたのです。

1975年の国際婦人年世界会議（前回参照）では、「世界行動計画」に男女の伝統的な役割を変更する必要性が明記されました。男性の伝統的役割の変更について、同会議で採択されたメキシコ宣言は、家庭および社会において男女は平等の権利と責任を有するとしています。そして夫婦双方が家庭と仕事を両立できるよう、男性はより積極的、創造的に、そして責任を持って家庭生活に参加すべきであるという原則が決定されました。

1918年に実施した農家世帯の労働時間調査の家事項目

男性（父、夫）が担う家事	女性（母、妻、娘）が担う家事
庭掃除、葬式、大掃除、買物、垣修繕、屋根替、障子張り、石臼の修繕、来客及び訪問、訪問、薪製造、味噌、餅つき	炊事、洗濯、裁縫、風呂焚、家掃除、育児、大掃除、機織、屋根替、来客及び訪問、薪製造、味噌、醤油、餅つき、漬物、団子作り

農商務省農政局「副業参考資料 第6」国産時報社（1921）より作成

※ルース・シュウォーツ・コーワン／高橋雄造訳『お母さんは忙しくなるばかり―家事労働とテクノロジーの社会史』法政大学出版局（1983＝2010、新装版は2024）

くほけいこ　お茶の水女子大学大学院修士課程修了。

元千葉大学教授、元和洋女子大学特任教授。専門は生活経営学、家族社会学。著書は『共働きと男性の家事労働』（ドメス出版、2023）他。

ホットライン

ホットラインの投稿は編集部メールアドレス　s-press@shinfujin.gr.jpへ

各地で 攻撃やめろ NO WAR ON IRAN

【中央本部】3月2日、東京・茗荷谷駅前で「ただちに停戦を」と緊急行動。「行動してくれてありがとうございます」と、かけつけた青年が署名に応じた。◀

▶【兵庫県本部】2日、神戸元町商店街でスタンディングの抗議行動。飛び入り参加もあった。神戸新聞の女性記者がかけつけ、翌日、写真入りで報道した。

◀山梨県本部

▲東京・八王子支部

和歌山　OTC類似薬保険外し学習会

【和歌山市支部　西本】班会で「OTC類似薬って何？そもそもどんな薬？」と疑問が出され、1月16日、和歌山民医連の神崎義美さんにきてもらい学習会をしました。

OTC薬（Over The Counter）は医師の処方箋がなくても購入でき、保険診療から薬局で買うと、10割負担になり、政府は今回の改定で約900億円の医療費削減を見込んでいる等を知りました。

社会保障の充実を▲和歌山

孫がアレルギー薬を処方してもらっている人からは「子ども医療費無料のはずが大変」。元読者は「死活問題。地域に薬局がないので薬が手に入らない」「日本は皆保険のはずなのに病気が重症化しても自己責任にされる」など不安の声が。

なぜ社会保障費を削減するのか、軍事費に回すのではなく社会保障の充実を！

東京　『五月の雨』上映&おしゃべり会

【板橋支部　山本美砂子】次世代会員が実行委員となって、2月15日、板橋グリーンカレッジで『五月の雨』自主上映会&おしゃべり会』を開きました。44人が参加し、DV被害に関連する離婚後共同親権について、関心の高さが伺えました。

映画には露骨な暴力シーンはないにも関わらず、言葉で攻めながら、ジッポライターのふたを一定のリズムで開閉する音で威圧するシーンなど、夫が妻を呪縛していくようすが表現され、見ているだけで恐ろしさを感じました。

上映後のおしゃべり会ではグループごとに感想などを言い合いました。子どものことを夫婦で考える共同親権は大事だと思っていても、DVがある場合を、その他の離婚と並列に考えてはいけないと考えが変わった人もいたようでした。

妻に収入がなく、「俺の稼ぎで養っている」と言う夫の意識が根強くDVと関連していることも、ジェンダーの問題として取り上げる必要があるという意見も。交流の機会にもなり、充実した時間を過ごすことができました。

北海道　班会で長寿を祝う会

【札幌北支部たまねぎ班　鈴木越子】26人の参加で、「長寿を祝う会」を開きました。

元気をもらった▲北海道

古稀、喜寿、傘寿、卒寿、百寿の方がたをお祝いしました。卒寿（2人）と百寿（1人）の方には絵手紙小組が描いた招待状を手渡してご招待。みんなで記念撮影をして、ご招待の方に手づくり小組が作った毛糸のソックスをプレゼント。そのあと、一品持ち寄りの料理（26品）でお腹いっぱい食べて交流しました。

カラオケ小組のHさんが、お祝いにと歌をご披露。高齢になっても元気でがんばっている会員から元気をもらい、幸せいっぱいの班会でした。

千葉　見ごろの河津桜でお花見班会

【県直属勝浦班　戸部由利】今年のお花見は河津桜が見ごろの勝浦の名所を回りました。宮軍塚から八幡岬の桜並木を楽しみ、勝浦湾を一望する広場でランチタイム。その後、海をバックに「女性の休日」連帯パネルを手に記念撮影しました。

3月8日には女性の休日in勝浦として、集まって語り合う予定です。

「女性の休日」パネルを手に▲千葉

福岡　小物づくり&絵手紙小組一緒に

【門司支部　山形玲子】2月20日、小物づくり小組、絵手紙小組を開きました。毎回季節に合った作品を教わります。

絵手紙は90歳の丸田さんが描いた真っ赤なイチゴで、おもわず「食べたい」。小組の会員が少ないので、二つの小組を一緒に開いています。

しんぶんタイムも取って、読み合わせ学習もしています。

しんぶんタイムも▲福岡